

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		水道施設整備事業					②事業番号		6201			
③事業類型		5. 普通建設事業			④開始年度		平成 21 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし		
⑥根拠法令等		○ 法令	条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称			水道法	
⑦実施手法		直営	全部委託	○ 一部委託	○ 補助・負担	その他						
⑧関連予算科目コード		款	D		項	1		目	6		細目	—
⑨担当部名		上下水道部		⑩担当課名		上水道工務課		会計		水道事業会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 水道管		① 更新対象延長		m	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
設計や交付申請を行い、交付金等を受け、水道管(施設)の耐震化等の整備を図る。		① 整備延長		m	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
年次的に耐震管に改修をおこない、災害時の漏水件数を最小限に抑える。		耐震化率		%	
		① 計算式 耐震管延長／全体延長			
		② 計算式			
		③ 計算式			
		(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け	
		施設の効率化を図りつつ安定給水を図る。			
政策(章)	5	快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち			
施策大(節)	2	活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします			
施策中	3	上水道の充実			
施策小	4	設備の更新			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	更新対象延長	m	99,746	105,108	111,152	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②						—	—	
活動指標①	整備延長	m	2,264	2,160	1,214	—	—	
活動指標②						—	—	—
活動指標③						—	—	
成果指標①	耐震化率	%	2	2	1	—	—	
成果指標②						—	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③						—	—	
事業費	投入人員	人	1.35	0.95	0.95	—	—	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	—
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	
	事業費	千円	10,843	7,629	7,702	—	—	—
	人件費(投入人員*単価)	千円	202,178	164,450	164,815	—	—	
	直接事業費	千円	213,021	172,079	172,517	—	—	
	総事業費	千円						—
財源内訳	国庫支出金	千円	11,847	0	0	—	—	
	府支出金	千円	0	0	0	—	—	
	受益者負担金	千円	201,174	172,079	172,517	—	—	—
	その他特定財源	千円	0	0	0	—	—	
	一般財源	千円	0	0	0	—	—	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	水道本管の漏水事故の多発や簡易水道統合の計画が立てられたことにより、交付金等を活用しながら整備を開始することとなった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	事業認可の計画事業に基づき、年次的に成果が得られているが、毎年事業量が多大となってきた。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	老朽管の更新や簡易水道統合整備等を行うことにより、良好なまちづくりにつながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか。市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい ウ. ある程度 イ. いいえ	水道料金により行っているため。(独立採算性)
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	年次ごとの単価見直しを徴収するなどし、また、他課と積算システムの共通活用をおこなうことで、適正な事業費を算出している。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	安定的に水を供給できなくなり市民生活に大きく影響を与える。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	整備箇所については、安定供給の機能向上が図られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	—
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	年次的に優先順位をつけて、整備計画をたててすすめる。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など		委託業務については、内容精査を高めるとともに、全体像を見据えた計画を策定する。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—